秘

町村制

第一章　總則

第一款　町村及其ノ區域

第二款　町村住民及其ノ權利義務

第三款　町村條例及町村規則

第二章　町村會

第一款　組織及選擧

第二款　職務權限及處務規程

第三章　町村行政

第一款　町村吏員ノ組織及選任

第二款　町村吏員ノ職務權限及處務規程

第三款　給料及給與

第四章　町村ノ財務

114
A2617
4

第一款　町村有財産營造物及町村税
第二款　町村ノ歳入出豫算及決算
第五章　町村内一部ノ行政
第六章　町村組合
第七章　町村行政ノ監督
第八章　附則

町村制

第一章　總則

第一款　町村及其ノ區域

第一條　此ノ法律ハ市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行スルモノトス

第二條　町村ハ法人トシ官ノ監督ヲ受ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並法律命令又ハ慣例ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理スルモノトス

第三條　町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但シ將來其ノ變更ヲ要スルコトアルトキハ此ノ法律ニ準據スヘシ

第四條　町村ヲ變シテ市ト爲スコトヲ要スルトキハ府縣知事ハ關係アル町村會郡參事會及府縣參事會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

第五條　町村ノ廢置分合又ハ境界ノ變更ヲ要スルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ町村ノ區域ニ編入スルコトヲ要スルトキ

亦同シ

本條ノ處分ニ付財産處分ヲ要スルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第六條　町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其ノ數郡ニ渉リ若クハ市ノ境界ニ渉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス

前項郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決又ハ前項府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

町村ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ第一項ニ依リ爭論ヲ提起スル者ナキトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二款　町村住民及其ノ權利義務

第七條　町村內ニ住居ヲ占ムル者ハ町村住民トス

町村住民ハ此ノ法律ニ從ヒ町村有財産竝營造物ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)町村ノ住民ト爲リ(二)町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)町村內ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ町村公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス

本條第一項ニ定ムル二箇年ノ制限ハ場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ經郡長ノ許可ヲ得テ之ヲ特免スルコトヲ得

家督ニ依リ財産ヲ相續シタル者ハ其ノ財産ニ付前財産主ノ納稅額ヲ以テ其ノ者ノ納稅資格ニ算入ス

町村公民ノ資格要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市町村ノ廢置分合若クハ

境界變更處分ノ爲ニ中斷セラルルコトナシ

此ノ法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ且治產ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

第九條　町村公民ハ町村ノ選擧ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選擧セラルルノ權利ヲ有シ及町村ノ名譽職ヲ擔任スルノ義務ヲ有スルモノトス

左ニ揭クル者ニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

一　疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二　業務ノ爲ニ常ニ町村內ニ居ルコトヲ得サル者

三　年齡滿六十歳以上ノ者

四　官職ノ爲ニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五　四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村會議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六　其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ニ該當セサル者ニシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトモ三年間擔當セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ町村會ノ議決ヲ經テ六年以內町村公民タルノ權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止年期以內他ノ住民ノ負擔スヘキ町村稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增課スルコトヲ得

前項ノ處分ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條第三項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第十條　町村公民タル者第八條ニ揭載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其ノ公民タルノ權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其ノ公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若ハ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ宣告取消サレ若ハ

ハ復權ノ決定確定スルマテ又ハ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

町村公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項及第九條第三項ノ場合ニ當ルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタル爲公民タルノ權ヲ得ヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止シ有給吏員ニ對シテハ併セテ給料ノ支給ヲ停止スルコトヲ得

第三款　町村條例及町村規則

第十一條　町村ハ町村住民ノ權利義務及町村ノ事務ニ關シ此ノ法律中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ付テハ條例ヲ設クルコトヲ得

町村ハ町村有財產及營造物ニ關スル事項ニ付テハ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ發布スヘシ

第二章　町村會

第一款　組織及選擧

第十二條　町村會議員ハ町村ノ選擧人其ノ被選擧權アル者ヨリ之ヲ選擧ス」

町村會議員ノ定員ハ人口ヲ標準トシ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム

一人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ　議員八人

一人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ　議員十二人

一人口五千以上一万未滿ノ町村ニ於テハ　議員十八人

一人口一万以上二万未滿ノ町村ニ於テハ　議員二十四人

一人口二万以上ノ町村ニ於テハ　議員三十人

町村會議員ノ定員ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得但シ三十人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十三條　町村公民ハ總テ選擧權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第十條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ直接町村稅ヲ納ムル者其ノ額町村公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ第八條ノ要件ニ當ラスト雖選擧權ヲ有ス但シ第十條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

第十四條　選擧人ハ分チテ二級ト爲ス

選擧人中直接町村稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選擧人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選擧人ヲ二級トス

一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其ノ町村內ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テシ年齡ニモ依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

選擧人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選擧ス但シ選擧區ヲ設ケタル場合ニ於テ議員ノ數二分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ町村條例ニ之ヲ規定スヘシ

被選擧人ハ同級內ノ者ニ限ラス各級ニ通シテ選擧セラルルコトヲ得

直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ在テハ本條ノ納稅額ハ選擧人ノ町村內ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依ルヘシ

特別ノ事情アリテ前各項ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第十五條　町村ハ町村條例ヲ以テ選擧區ヲ設クルコトヲ得但シ特ニ二級選

擧ノ爲之ヲ設クルモ妨ケナシ

選擧區ノ數及其ノ區域竝各選擧區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ町村條例ヲ以テ主トシテ選擧人ノ員數ニ準シ之ヲ定ムヘシ

選擧人ハ住居ノ地ニ依テ所屬ノ選擧區ヲ定ム其ノ町村內ニ住居ナキ者ハ直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若數選擧區ニ涉リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ滯在ノ地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選擧區ニ涉リ住居シ若クハ滯在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ

選擧區ヲ設クルトキハ其ノ選擧區ニ於テ選擧人ノ等級ヲ分ツヘシ

被選擧人ハ其ノ選擧區內ノ者ニ限ラサルモノトス

第十六條　選擧權ヲ有スル町村公民ハ總テ被選擧權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選擧權ヲ有セス

一　所屬府縣郡ノ官吏及有給吏員

二　其ノ町村ノ有給吏員

三　檢事警察官吏及收稅官吏

四　神官僧侶其ノ他諸宗教師

五　小學校教員

六　直接間接ヲ問ハス其ノ町村ニ屬スル事業ノ請負ヲ爲ス者

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟ノ緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス其ノ同時ニ選擧セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ若同數ナレハ年長者ヲ當選トス其ノ時ヲ異ニシテ選擧セヲレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

町村長又ハ助役トノ間父子兄弟ノ緣故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タ

ルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ緣故アル者町村長又ハ助役ノ任ヲ受クルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ退クヘシ

第十七條　町村會議員ハ名譽職トス

町村會議員ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各級ノ議員二分シ難キトキハ先ツ多數ノ一半ヲ解任セシム

定期改選ニ際シ又ハ議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ選擧區ヲ變更シ若クハ各選擧區ヨリ選出スヘキ議員ノ員數ヲ變更シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ選擧區ヲ變更シ若クハ各選擧區ヨリ選出スヘキ議員ノ員數ヲ變更シタル爲新ニ選擧セラレタル議員ハ次回ノ改選期又ハ其ノ次ノ改選期マテ在職スルモノトス其ノ次回ノ改選期又ハ其ノ次ノ改選期ニ於テ解任スヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任者ハ再選セラルルコトヲ得

第十八條　町村會議員中闕員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選擧ヲ行フヘシ若定員二分ノ一以上闕員アルトキ又ハ町村會、町村長若クハ郡長ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期改選前ト雖補闕選擧ヲ行フヘシ

補闕員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選擧ハ前任者ノ選擧セラレタル選擧等級及選擧區ニ從テ之カ選擧ヲ行フヘシ

第十九條　町村長ハ選擧ヲ行フ毎ニ其ノ選擧前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選擧人ノ資格ヲ記載セル選擧原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選擧人名簿ヲ調製スヘシ但シ選擧區ヲ設クルトキハ毎區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ

選擧人名簿ハ其ノ選擧前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルト

キハ縱覽期限內ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ回付ヲ受ケタル日ヨリ七日以內ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村會ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得町村長ニ於テ不服アルトキ亦同シ

町村長ハ第二項異議ノ決定ニ依リ又ハ第三項訴願ノ裁決確定シ若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選擧ノ日ヨリ五日前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選擧ニ參與スルコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以內ニ於テ選擧ヲ行フトキモ亦之ヲ適用スルコトヲ得但シ名簿確定後訴願ノ裁決若ハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選擧ノ日ヨリ五日前ニ修正スヘキモノトス

選擧人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレタル者ニシテ選擧人ノ資格ナキコトヲ發見シ若ハ其ノ資格ヲ失フモノアルモ名簿ヲ修正スルノ限ニ在ラス但シ選擧人ノ資格ナキ者ハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス

異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ無效ト爲リタルトキハ前名簿ニ記載スヘキ選擧人ノ資格ニ依リ新ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス其ノ名簿調製ノ期日及縱覽修正ニ關スル期限等ハ郡長ノ定ムル所ニ依ル但シ名簿調製ノ期日マテニ選擧人ノ資格ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スルノ限ニ在ラス

本條ニ規定シタル選擧原簿調製期日及名簿縱覽開始ノ期日ハ町村條例ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第二十條　選擧ヲ行フトキハ町村長ハ選擧ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選擧

ノ場所日時及每區每級ヨリ選擧スヘキ議員ノ員數ヲ告示スヘシ
各級ニ於テ選擧ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選擧ヲ行ヒ次ニ一級ノ選擧ヲ行フヘシ

第二十條　町村長ハ臨時ニ選擧人中ヨリ二名乃至四名ノ選擧掛ヲ選任シ町村長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル代理者ハ選擧掛長ト爲リ選擧會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選擧區ヲ設クルトキハ每區各別ニ選擧掛ヲ設クヘシ

選擧掛ハ名譽職トス

第二十一條　選擧開會中ハ選擧人ノ外何人タリトモ選擧會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選擧事務ヲ管理ニ關係アル職務又ハ會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス

選擧人ハ選擧會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條　選擧ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ選擧會場ニ於テ被選擧人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選擧人自ラ選擧掛長ニ差出スヘシ但シ選擧人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選擧人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ選擧掛長ニ申立テ選擧掛長ハ選擧人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

投票用紙ハ一定ノ式ヲ用ユルコトヲ得

選擧區ヲ設ケタル場合ニ於テ選擧人名簿ノ縱覽期限後選擧人ノ所屬選擧區ヲ定ムル要件ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選擧人ハ前所屬ノ選擧區ニ於テ選擧ヲ行フヘシ

第二十四條　第二十三條第二項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選擧ヲ行フコトヲ得其ノ獨立ノ男子ニ非サル者及法人ハ必ス代人ヲ以テスヘシ

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限

ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス
前項ノ代人ハ委任狀ヲ選擧掛ニ示スヘシ但シ法律上ノ代人ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 投票ニ記載ノ人員其ノ選擧スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其ノ投票ヲ無效トセス其ノ定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ

左ノ投票ハ之ヲ無效トス但シ連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無效トス

一 人名ヲ記載セサルモノ
二 記載シタル人名ノ讀ミ難キモノ
三 被選擧人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
四 被選擧權ナキ者ノ人名ヲ記載スルモノ
五 被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ

敬稱ノ類ヲ記入スルモノハ此ノ限ニ在ラス
六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用ヰサルモノ

第二十六條 投票ノ受理竝效力ニ關スル事項ハ選擧掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選擧掛長之ヲ決スヘシ

第二十七條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經區畫ヲ定メテ選擧分會ヲ設クルコトヲ得但シ特ニ二級選擧ノ爲之ヲ設クルモ妨ケナシ
選擧分會ノ選擧掛ハ第二十條ノ例ニ依ル
選擧分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其ノ他選擧ノ手續會場ノ取締等ハ總テ本會ノ例ニ依ル
選擧分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

第二十八條 町村會議員ノ選擧ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ選擧掛長抽籤シ

テ其ノ當選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選擧スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ選擧掛長抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第二十九條　選擧掛長ハ選擧錄ヲ製シテ選擧ノ顚末ヲ記錄シ選擧ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選擧掛二名以上ト共ニ之ニ署名捺印シ選擧人名簿其ノ他關係書類ト共ニ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選擧ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第三十條　選擧ヲ終リタルトキハ選擧掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ兩級若クハ數區ノ選擧ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ

受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選擧ニ應スヘキヲ町村長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做ス

定期改選、增員選擧、補闕選擧等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ數選擧ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

第十六條第三項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ十四日以内トス

第三十一條　町村會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ依テ當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ依テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ町村長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ町村長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十二條　當選者定リタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選擧錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三十三條　選擧人選擧ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選擧ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ町村會之ヲ決定ス其ノ町村會ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願スルコトヲ得

郡長ニ於テ選擧ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ郡參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條郡參事會ノ決定若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十四條　選擧ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選擧ヲ無效トス但シ其ノ事ノ輕微ニシテ選擧ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ資格要件ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無效トス

第三十五條　選擧若クハ當選無效ト確定シタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ

第三十六條　町村會議員ニシテ資格要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス其ノ要件ノ有無ハ町村會之ヲ決定ス但シ議員ハ自身ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項町村會ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者

ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得町村長ニ於テ不服アルトキ亦同シ

町村會議員ハ其ノ資格要件ヲ有セストスル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アルマテ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第三十七條　小町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經テ定ムル町村條例ノ規程ニ依リ町村會ヲ設ケス選擧權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二款　職務權限及處務規程

第三十八條　町村會ハ此ノ法律ニ從ヒ町村ニ關スル事件竝法律命令ニ依リ町村會ノ職權ニ屬スル事件ヲ議決スルモノトス

第三十九條　町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一　町村條例及町村規則ヲ設定スル事

二　町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ法律命令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三　歳入出豫算ヲ定ムル事

四　決算報告ヲ認定スル事

五　法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料、手數料、加入金、町村稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ方法ヲ定ムル事

六　町村有不動産ノ賣買交換讓受讓渡竝質入書入ヲ爲ス事

七　基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

八　歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

九　町村有財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

十　町村吏員ノ身元保證ヲ徵シ竝其ノ額ヲ定ムル事

十一　町村ニ係ル訴願、訴訟及和解ニ關スル事

第四十條　町村會ハ法律命令ニ依リ其ノ職權ニ屬スル選擧ヲ行フヘシ

第四十一條　町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ施行竝收入支出ノ正否ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選擧シ町村長又ハ其ノ指命シタル町村吏員立會ノ上關係書類竝金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

第四十二條　町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第四十三條　町村會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

法律命令ノ規程ニ依リ町村會ノ意見ヲ徵スヘキ場合ニ於テ町村會成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　町村會議員ハ選擧人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカヲサルモノトス

第四十五條　町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス

第四十六條　町村長及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏、吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ關シ辯明スルコトヲ得

第四十七條　町村會ハ町村長之ヲ招集ス若議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ町村長ハ町村會ヲ招集スヘシ

町村長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得

招集竝會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

町村會ハ町村長之ヲ開閉ス

第四十八條　町村會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ至リ議員仍半數ニ滿タサル

議長及議員二名以上出席シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十條　議長及議員ハ自己若ハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ町村會ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲議員ノ數減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサル議長及議員二名以上出席シタルトキハ仍會議ヲ開クコトヲ得

第五十一條　法律命令ノ規程ニ依リ町村會ニ於テ選擧ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就テ決選投票セシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トシ若同數ナハ年長者ヲ取リ同年月ナハ抽籤ヲ以テ當選者ヲ定ム

其ノ他ハ第二十三條第二十五條第二十六條ヲ準用ス

前項ノ選擧ニハ町村會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用ユルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ユル場合ニ於テハ前項ノ例ヲ準用ス

第五十二條　町村會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第五十三條　議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十四條　町村會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヰ又ハ他人ノ身上ニ渉リ言論スルコトヲ得ス

第五十五條　會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去

セシムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第五十六條　傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騷ニ渉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第五十七條　町村會ニ書記ヲ置キ議長ニ隷屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十八條　議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顚末竝出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スルヲ要ス其ノ議員ハ町村會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五十九條　町村會ハ郡長ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ此ノ法律竝會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ若ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六十條　第三十八條乃至第五十九條ノ規程ハ之ヲ町村總會ニ適用ス

第三章　町村行政

第一款　町村吏員ノ組織及選任

第六十一條　町村ニ町村長及助役各一名ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ增加スルコトヲ得

第六十二條　町村長及助役ハ町村會ニ於テ其ノ町村公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス

第六十三條　町村長及助役ハ名譽職トス但シ第六十四條ノ有給町村長及有給助役ハ此ノ限ニ在ラス

町村長及助役ノ任期ハ四年トス

第六十四條　町村ノ情況ニ依リ町村條例ノ規程ヲ以テ町村長又ハ助役二名ニ給料ヲ給スルコトヲ得

有給町村長及有給助役ハ町村公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間町村公民タルノ權ヲ得

第六十五條　町村長及助役ノ選擧ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ若其ノ認可ヲ得サルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ

町村長及助役ノ不認可ニ對シ町村ニ於テ不服アルトキハ内務大臣ニ具申シテ更ニ認可ヲ請フコトヲ得

第六十六條　町村長及助役ハ第十六條第二項ニ掲載スル職ト相兼ヌルコトヲ得ス

父子兄弟ノ緣故アル者ハ同時ニ町村長及助役タルコトヲ得ス若其ノ緣故アル者助役ノ選擧ニ當リタルトキハ其ノ當選ヲ取消シ町村長ノ任ヲ受クルトキハ其ノ緣故アル助役ハ其ノ職ヲ退クヘシ助役數名アル場合ハ第十六條第四項ヲ準用ス

有給町村長及有給助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得但シ退職申立後三箇月ニ滿タスト雖後任者認可ヲ得タルトキハ其ノ日ヲ以テ退職者トス

第六十七條　有給町村長及有給助役ハ他ノ給料アル職務ヲ兼任シ又ハ會社役員ト爲ルコトヲ得ス其ノ他營業ハ郡長ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第六十八條　町村ニ收入役一名ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ收入役代理者ヲ置クコトヲ得

收入役及收入役代理者ハ有給吏員ト爲シ其ノ任期ハ四年トス

收入役及收入役代理者ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選定シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

收入役及收入役代理者ハ町村長又ハ助役ト相兼ヌルコトヲ得ス其ノ他第

六十四條第二項第六十五條及第六十六條ノ規程ヲ準用ス

收入支出ノ寡少ナル町村ニ於テハ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十九條　町村ニ書記其ノ他必要ノ吏員ヲ置キ有給トシ町村長之ヲ任免ス但シ町村長ニ相當ノ書記料ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコトヲ得

前項吏員ノ定員ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第七十條　町村ハ處務便宜ノ爲町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ數區ニ分チ毎區區長及區長代理者各一名ヲ置クコトヲ得

區長及區長代理者ハ名譽職トス

區長及區長代理者ハ町村會ニ於テ町村公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス區會ノ設ケアル區ニ於テハ其ノ區會ニ於テ之ヲ選擧スヘシ

第七十一條　町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會議員又ハ町村公民中選擧權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ町村會議員ト町村公民中選擧權ヲ有スル者トヲ以テ之ヲ組織ス

委員ヲ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ委員長トス

委員ハ町村會ニ於テ之ヲ選擧シ其ノ組織任期等ニ關スル事項ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第七十二條　町村吏員ハ任期滿限ノ後再選セラルルコトヲ得

町村吏員ハ別段ノ規程又ハ規約アルモノヲ除ク外隨時解職スルコトヲ得

第二款　町村吏員ノ職務權限及處務規程

第七十三條　町村長ハ町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一　町村會ノ議事ヲ準備シ竝其ノ議決ヲ執行スル事

二　町村有財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其

ノ事務ヲ監督スル事

町村ノ權利ヲ保護スル事

町村ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義ヲ以テ其ノ訴願、訴訟並和解ニ關與シ又ハ他廳若クハ一個人ト交渉スル事

法律命令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手數料、加入金、町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

其ノ他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依リ町村長ノ權限ニ屬スル事項

第七十四條　町村長ハ町村吏員ヲ監督シ其ノ任免ニ係ル町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、五圓以下ノ過怠金及解職トス」

前項町村長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其ノ郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ町村ノ公職ニ選擧若クハ任命セラルルコトヲ得ス

第七十五條　町村會ノ議決若クハ選擧其ノ權限ヲ越ヘ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若クハ選擧ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル町村會ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得町村長ニ於テ其ノ郡參事會又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキ亦同シ

町村會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又

ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

前項郡長ノ處分ニ不服アル町村會ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十六條 町村會ニ於テ町村ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ郡長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項郡長ノ處分ニ不服アル町村會ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十七條 町村會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ町村長ハ郡長ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第五十一條第二項ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

町村會ニ於テ決定スヘキ事件ニ關シテモ本條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於テ町村長ノ處分ニ不服アル者ハ各本條ノ規程ニ依リ訴願訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第七十八條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

一 司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其ノ管理ニ屬スル地方警察ノ事務

二 浦役場ノ事務

三 國ノ行政竝府縣郡ノ行政ニシテ其ノ町村ニ屬スル事務

前項ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スル爲ニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第七十九條　町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第八十條　助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理スヘシ

第八十一條　收入役ハ町村ノ出納及會計ノ事務ヲ掌ル

收入役代理者ハ收入役ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ收入役及町村會ノ同意ヲ得テ收入役代理者ヲシテ收入役ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

收入役代理者ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス收入役代理者數名アルトキハ上席者之ヲ代理スヘシ

第八十二條　書記其ノ他ノ吏員ハ町村長ノ指揮命令ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第八十三條　區長ハ町村長ノ指揮命令ヲ受ケ町村長ノ事務ニシテ區ニ關スルモノヲ補助執行ス

區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

第八十四條　委員ハ町村長ノ指揮監督ニ屬シ町村有財産若ハ營造物ヲ管理シ若ハ監督シ又ハ町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第八十五條　町村ノ事務ニ關スル處務規程ハ町村長之ヲ定メ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

町村吏員ノ服務紀律ハ郡長之ヲ定ム

第三款　給料及給與

第八十六條　名譽職員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

名譽職町村長、名譽職助役、區長及區長代理者竝委員ニハ實費辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

實費辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經郡長ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ郡長之ヲ確定ス

第八十七條　有給町村長、有給助役其ノ他有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經郡長ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ郡長之ヲ確定ス

第八十八條　町村條例ヲ以テ有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル規程ヲ設クルコトヲ得

第八十九條　有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ノ給與ニ關シテ異議アルトキハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ町村會之ヲ決定ス其ノ町村會ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十條　給料、旅費、退隱料、遺族扶助料、報酬、實費辨償其ノ他諸給與ハ町村ノ負擔トス

第四章　町村ノ財務

第一款　町村有財産營造物及町村稅

第九十一條　町村ハ不動産又ハ元額ヲ費消スル豫定ナキ積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等ニシテ寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ特定ノ目的ノ爲ニ特別ノ基本財産若ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項基本財産ニ加入スルヲ得ヘキ收入ノ全部若ハ一部ヲ特別ノ基本財産若ハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得

第九十二條　町村有財産ハ其ノ收益ヲ以テ町村ノ收入ト爲ス爲ニ之ヲ管理

スルモノトス但シ町村ノ直接ノ公用若クハ町村住民ノ直接ノ共用ニ供シタル町村有財產ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨ケアルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ抵觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條　舊來ノ慣行ニ依リ特ニ其ノ町村有財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル

第九十四條　町村有財產又ハ營造物ヲ特ニ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得但シ町村ノ直接公用ニ供シタルモノニシテ其ノ公用ニ妨ケアルトキ及特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料、加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第九十五條　町村ハ必要ナル場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ第九十三條

第九十四條ノ使用權ヲ取上ケ若ハ制限シ又ハ第九十三條ノ使用權ヲ有スル者ヨリ使用料ヲ徵收スルコトヲ得但シ特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條　第九十三條第九十四條ノ使用權ヲ有スル者ニハ使用ノ多寡ニ準シ其ノ町村有財產又ハ營造物ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔セシムルコトヲ得

第九十七條　町村ハ町村有財產若ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十八條　町村有財產又ハ營造物ノ使用方法ニ關スル町村規則ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得其ノ他ハ第百四條第二項ヲ適用ス

第九十九條　町村有財產ヨリ生スル收入ヲ以テ町村ノ支出ニ充テ仍殘餘ヲ生シタルトキハ將來町村稅ヲ徵收スル必要ナキコトヲ豫期シ得ヘキ場合ニ限リ之ヲ町村住民ニ分配スルコトヲ得

第百條　町村有財産ノ賣却貸與又ハ町村ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ入札ヲ爲ストキハ町村會ハ議員二名以上ヲシテ立會ハシムルコトヲ得

第百一條　町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第百二條　町村ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ負擔スルノ義務アリ

前項ノ負擔ハ町村税其ノ他町村ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第百三條　町村税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一　國税府縣税ノ附加税

二　直接若クハ間接ノ特別税

附加税ハ直接ノ國税又ハ府縣税ニ附加シ均一ノ税率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス

特別税ハ別ニ町村限リ税目ヲ起シテ課税スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

第百四條　此ノ法律中別ニ規程アルモノヲ除ク外使用料、手數料、特別税ニ關スル細則ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ町村長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百五條　三箇月以上町村內ニ滯在スル者ハ其ノ滯在ノ初ニ遡リ町村税ヲ

納ムル義務ナルモノトス

第百六條　町村內ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滯在スルコトナシト雖町村內ニ於テ土地、家屋、物件ヲ所有シ若ハ使用シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ町村內ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋、物件、營業若ハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義務ナルモノトス其ノ法人タルトキ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラス

第百七條　所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ又ハ町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ町村外ニ於テ所有シ若ハ使用スル土地、家屋、物件又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滯在スル者ニ前項ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市町村ニ平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地、家屋、物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第百八條　數市町村ニ渉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ本稅額ヲ各市町村ニ分割シテ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ

第百九條　所得稅法第三條ニ掲クル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國府縣郡市町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地、家屋、物件竝營造物ニ對シテハ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝、美術、慈善ノ用ニ供スル土地、家屋、物件、竝營造物ニ對シテハ社寺又ハ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若ハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

新開地及開墾地ハ町村條例ヲ以テ年月ヲ限リ免税スルコトヲ得

本條ノ外町村税ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル町村税ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第百十條　數個人ヲ利スル營造物ノ設置又ハ維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村内ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置又ハ維持ノ費用ハ其ノ部内ニ於テ町村税ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第百十一條　町村内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事業ニ關シテハ其ノ利益ノ厚薄ニ準シ該部分ノ負擔ヲ増課スルコトヲ得

第百十二條　町村税ハ納税義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免税理由ノ生シタル月ノ終マテ月割ヲ以テ之ヲ徴收スヘシ但シ日割ヲ以テ徴收スルモノ及一時ノ税ハ此ノ限ニ在ラス

納税義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納税者ヨリ之ヲ町村長ニ屆出ツヘシ其ノ屆出ヲ爲シタル月ノ終マテハ仍從前ノ税ヲ徴收スルコトヲ得

土地、家屋其ノ他物件ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル町村税ハ其ノ納期ニ於テ納税義務ヲ負フ者其ノ額ヲ納ムヘシ

町村税ノ前納ニ係ルモノハ徴收後納税義務消滅シ變更シ又ハ移轉シタル場合ト雖之ヲ還付セス但シ納税義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其ノ前納期限ノ終マテ納税セサルモノトス

第百十三條　町村ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ納税義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接町村税ヲ準率ト爲シ若直接町村税ヲ賦課セサル町村ニ於テハ直接國税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ

賦課スヘシ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百十四條　町村長ハ納税者中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限リ納税延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合又ハ町村税ノ減免ヲ要スルトキハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

第百十五條　町村税、使用料、手數料、加入金、夫役現品ニ代フル金圓、過料其ノ他町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ國税滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、還付、期滿免除及先取特權ニ付テハ國税ニ關スル例ヲ適用ス

第百十六條　町村税ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト

認ムルトキハ徵税令書ノ交付後三箇月以内ニ町村長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

町村有財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ町村會之ヲ決定ス其ノ町村會ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百十七條　町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ町村ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ町村會ノ議決ヲ經テ町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

町村債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還步合ヲ定メ

起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス
豫算内ノ支出ヲ爲ス爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ニ依ル限ニ在ラス但シ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款　町村ノ歳入出豫算及決算

第百十八條　町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ但シ町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ
豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ町村ノ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第百十九條　町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百二十條　町村ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百二十一條　豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設ツヘシ但シ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百二十二條　豫算調製ノ式竝費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム

第百二十三條　豫算ハ其ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ郡長ニ報告シ竝其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十四條　町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百二十五條　町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事項アルトキハ先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ
收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又收入役ハ町村長ノ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第八十十條第三項第四項ノ場合ニ於テハ本條ノ規程ヲ收入役代理者ニ適用ス

第百二十六條　町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ檢査シ及毎年少クトモ一回臨時檢査ヲ爲スヘシ

檢査ハ町村長之ヲ爲シ臨時檢査ニハ町村會ニ於テ選擧シタル議員ノ立會ヲ要ス

第百二十七條　町村ノ出納閉鎖ハ會計年度後三箇月ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ町村會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書及之ニ關スル町村會ノ議決ハ町村長ヨリ之ヲ郡長ニ報告シ竝決算ノ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第五章　町村内一部ノ行政

第百二十八條　町村内一部ノ財産又ハ營造物ニ關シテハ法律命令中別段ノ規程アルモノヲ除ク外町村有財産又ハ町村ノ營造物ニ關スル例ニ依リ町村長之ヲ管理スヘシ但シ一部ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別スヘシ

第百二十九條　前條ニ記載スル事件ノ爲必要アル場合ニ於テ郡長ハ町村會ノ意見ヲ聞キ郡參事會ノ議決ヲ經テ町村條例ヲ發行シ區會ヲ設ケテ該事務ニ關シ町村會ノ議決スヘキ事件ノ全部若ハ一部ヲ委任スルコトヲ得一部ノ營造物ニアラスト雖其ノ一部限リ費用ヲ負擔スル場合ニ於テ必要アルトキ亦同シ

第百三十條　區會ノ組織選擧職務權限處務規程等ニ付テハ第十二條第十項第十三條乃至第十六條第十七條第二項第三項第四項第五項第十八條乃至第三十七條第四十條第四十一條第四十三條乃至第六十條ノ規程ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項ニ付テハ前條ノ町村條例ニ特例ヲ設クルコトヲ得

區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定員ハ前條ノ町村條例ニ之ヲ規定スヘシ

第百三十一條　前條ノ外區會ニ關シテハ第七十五條第七十六條第七十七條第百四十二條及第百四十三條ノ規程ヲ適用ス

第百三十二條　町村內一部ノ行政ニ關シ本章中規定スルモノヲ除ク外必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章　町村組合

第百三十三條　數町村ノ全部若ハ一部ノ事務ヲ共同處分スル爲其ノ協議ニ依リ郡長ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得但シ數郡ニ渉ル場合ニ於テハ全部ノ事務ヲ共同處分スル組合ヲ設クルコトヲ得ス

公益上必要アル場合ニ於テハ郡長ハ關係アル町村會ノ意見ヲ聞キ郡參事會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ前項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

第百三十四條　前條ニ依リ設置シタル町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ

增減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ郡長ハ關係アル町村會ノ意見ヲ聞キ郡參事會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ組合町村ノ數ヲ增減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ郡長ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ

第百三十三條第二項及第百三十四條第二項ノ場合ニ於テ前項ノ協議整ハサルトキハ郡長ハ郡參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第百三十六條　組合規約ニ定ムヘキ事項左ノ如シ

一　組合ヲ組織スル町村

二　組合ノ共同事務

三　組合役場ノ位置

四　組合會ノ組織

五　組合事務ノ管理方法

六　組合費用ノ支辨方法

第百三十七條　町村組合ニハ其ノ組合規約ヲ以テ定メタルモノヲ除ク外町村ニ關スル此ノ法律ノ規程ヲ適用ス但シ勅令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

第百三十八條　町村組合ハ關係町村ノ協議ニ依リ郡長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解クコトヲ得ス

公益上必要アル場合ニ於テハ郡長ハ關係アル町村會ノ意見ヲ聞キ郡參事會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ解クコトヲ得

第七章　町村行政ノ監督

第百三十九條　町村行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第百四十條　此ノ法律中別段ノ規程アル場合ヲ除ク外町村行政ニ關スル郡長ノ處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

異議訴願及訴訟ヲ提起スル者アルモ此ノ法律中別段ノ規程アルモノヲ除ク外處分ノ執行ヲ停止セス但シ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ願ニ依リ必要ト認ムルトキハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第百四十一條　監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戻セサルヤ其ノ事務錯亂澁滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ町村行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第百四十二條　監督官廳ハ必要アル場合ニ於テハ期日ヲ定メテ町村會ノ中止ヲ命スルコトヲ得

第百四十三條　町村會ノ解散ハ內務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以內ニ議員ヲ選擧スヘシ

第百四十四條　町村長ニ於テ法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ委任セラレタル事項ヲ施行セサルトキハ監督官廳又ハ其ノ委任シタル官吏、吏員ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得但シ其ノ施行ニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第百四十五條　町村會ニ於テ町村長、助役、收入役及收入役代理者ヲ選擧セス又ハ其ノ再選擧ニシテ仍認可ヲ得サルトキ又ハ前ニ認可ヲ得サル者ヲ再ヒ選擧シタルトキハ追テ選擧ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルマテノ間府縣知事ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ町村長、助役、收入役及收入役代理者ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ俸給旅費等ハ町村費ヲ以テ辨償セシムヘシ

臨時代理者ノ給料額、旅費額若ハ報酬額、實費辨償額等ハ府縣知事之ヲ定ム

第百四十六條　町村長、助役共ニ故障アルトキ又ハ收入役、收入役代理者ヲ置キタル町村ニ於テハ收入役代理者共ニ故障アルトキハ監督官廳ハ前條ノ規程ヲ準用スルコトヲ得

第百四十七條　左ニ揭クル事件ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一　町村條例ヲ設定スル事

二 學藝、美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物件ノ賣却、交換、讓渡、質入、書入若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

三 使用料、手數料、加入金ヲ新設シ增額シ又ハ變更スル事

第百四十八條 左ニ掲クル事件ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村債ヲ起シ竝起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第百十七條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 特別稅ヲ新設シ增額シ又ハ變更スル事

三 地租十分ノ三其ノ他直接國稅十分ノ五ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

五 國庫ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第百四十九條 左ニ掲クル事件ハ郡長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村規則ヲ設定スル事

二 基本財産ノ處分ニ關スル事

三 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

四 第九十四條第一項ノ處分竝第九十五條ニ依リ使用權ヲ取上ケ若クハ制限スル事

五 第九十六條ニ依リ使用權ヲ有スル者ニ費用ヲ分擔セシムル事

六 町村有不動産ノ賣却、交換、讓渡竝質入、書入ヲ爲ス事

七 町村有財産ヨリ生スル收入ヲ町村住民ニ分配スル事

八 寄附若クハ補助ヲ爲ス事

九 各種ノ保證ヲ與フル事

十 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

十一 第百十條ニ依リ數個人若クハ町村內ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事但シ區會ノ議決ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

十二　第百十一條ニ依リ町村內ノ一部ニ對シ費用ヲ增課スル事
十三　第百十三條ノ準率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
十四　繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事
十五　特別會計ヲ設クル事

第百五十條　町村ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中輕易ナルモノハ勅令ノ規程ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

第百五十一條　府縣知事郡長ハ町村長、助役、收入役、收入役代理者、委員、區長其ノ他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

郡長ノ行ヒタル懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者及府縣知事ノ行ヒタル懲戒處分ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

監督官廳ハ町村吏員ノ懲戒處分ヲ行フ前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ竝給料ノ支給ヲ停止スルコトヲ得

第七十四條末項ノ規程ハ本條ニ依リ懲戒解職ヲ受ケタル者ニモ亦之ヲ適用ス

第百五十二條　收入役及收入役代理者其ノ職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタルコトアル爲町村ニ對シテ賠償スヘキコトアリト認ムルトキハ町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ賠償ヲ命スルコトヲ得

前項賠償責任ノ有無竝賠償額ニ付不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條賠償金ヲ納メサルトキハ第百十五條ノ例ニ依リ處分ス

第八章　附則

第百五十三條　此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

第百五十四條　此ノ法律ノ規程ニ依リ郡長郡參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數郡ニ渉ルモノアルトキハ關係郡長ノ具狀ニ依リ府縣知事ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡長及郡參事會ヲ指定スヘシ其ノ數府縣ニ渉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡長及郡參事會ヲ指定スヘシ

第百五十五條　此ノ法律ノ規程ニ依リ府縣知事、府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ渉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事及府縣參事會ヲ指定スヘシ

第百五十六條　此ノ法律ニ定ムル郡參事會ノ職務ハ郡制ヲ施行シ郡參事會成立スルニ至ルマテノ間郡長之ヲ行ヒ府縣參事會ノ職務ハ府縣制ヲ施行シ府縣參事會成立スルニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第百五十七條　此ノ法律ハ北海道、沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス別ニ勅令ヲ以テ其ノ制ヲ定ム

第百五十八條　前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ勅令ヲ以テ此ノ法律中ノ條規ヲ中止スルコトアルヘシ

第百五十九條　此ノ法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人及在監人ヲ除キタル數ヲ云フ

第百六十條　此ノ法律ニ於テ直接稅トスヘキモノハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第百六十一條　此ノ法律ニ抵觸スル從前ノ成規ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第百六十二條　此ノ法律ニ規定スルモノヲ除ク外町村行政ニ關シ必要ノ事項ハ命令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第百六十三條　此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム